

# 防犯

# だより

vol.86

防犯専門官

山田 英明

## 踏み間違いによる交通事故

ブレーキペダルの踏み間違いなどによる事故は、高齢運転者でありがちな事故としてニュースでも報道され、社会的に注目されています。ペダル踏み間違い事故については、次のとおり、交通事故総合分析センターから分析資料が出されています。

ペダルの踏み間違いによる事故件数  
2018～2020年 (単位:件)

事故累計 事故内容	車両 相互	車両 単独	人対 車両	合計 ※
死傷	7,883	1,247	606	9,738
内 死亡重傷	214	370	211	797
内 死亡	14	86	22	123

※合計には車対列車の事故を含みます。

### ■事故要因の分類

#### ・操作ミス

ペダルの踏み間違い、ブレーキの踏みが弱い・遅い、ハンドルの操作ミス、ギアへの入れ間違いなど

#### ・認知エラー

居眠り運転、わき見、漫然運転、安全不確認など

#### ・判断ミス

具体的な危険がないとして注意を怠った、相手が譲ってくれると思った、相手の行動予見の判断を誤ったなど

### ■操作ミスの詳細

事故類型における操作ミスの構成を見ると、次のような特徴があります。

・車両相互と車両単独ではハンドルの操作不適が最大となっており、次いでペダルの踏み間違いとなっている。  
・人対車両ではペダルの踏み間違いが半数以上を占めています。

### ■踏み間違い事故の特徴

#### ・車両の進行方向

ペダル踏み間違い死亡重傷事故における車両の進行方向

では、いずれの場合も直進中が最多になっています。人対車両の場合は後退時が次に多くなっています。

#### ・事故の多い運転者の年齢層

ペダルの踏み間違い事故で事故リスクが高い運転者の年齢層は、24歳以下と75歳以上となっていました。

#### ・多重衝突事故

ペダルの踏み間違い事故では複数の相手にぶつかったケースも報告されていますが、その場合、他の事故と比較して高い割合で死亡重傷事故となっています。年齢層で見ると55歳以降が高くなっている傾向が見られます。

一度ぶつかってもブレーキと間違えてアクセルを踏んでいるため、止まることができず更に衝突しています。このことから高齢になるほど間違った操作をした時に、運転行動の修正が困難ということが考えられます。

### ■まとめ

ペダルの踏み間違い事故は、通常、ペダルを踏むときに目視で確認しておらず、足

の感覚で自分が踏んでいるのが「ブレーキである」との誤信から起こります。

私たちは運転の際に、周囲の安全確認や丁寧な操作で事故を起こさない運転を心掛ければなりません。前述のミスを皆無にすることは、ほぼ不可能と思われま

す。今後、AI技術の進化により自動運転などの安全機能もより高度化すると考えられますが、過信することなく事故防止の自助努力をし、また安全機能というハード面も上手に駆使しながらペダルの踏み間違いなどをなくし、交通事故を未然に防いでいきましょう。



## 筑紫野警察署からのお知らせ

～太宰府市・筑紫野市で侵入盗が多発しています～

いつあなたの家が狙われるかわかりません。悪いのは犯人ですが、被害を防ぐためにも自らできる防犯対策を行いましょ！



不審者を見かけた際は110番！



被害に遭わないために

- ①『戸締りは確実に！』
- ②『窓ガラスには二重ロックを！』
- ③『照明や防犯カメラの設置を！』

「地域の目」で『安全安心なまち』にしましょう！

筑紫野警察署 ☎(929)0110